

令和6年度 第1回除雪懇談会

日時：令和6年7月22日（月）午後2時から
場所：市役所別館 3階 第2委員会室
担当：小樽市 建設部

1 開 会

2 出席者の紹介

3 建設部挨拶

4 除雪懇談会資料の説明（1～7ページ）

5 説明資料に関する質疑応答

※ 個別の路線・箇所の場合につきましては、閉会后、市の担当者にお問合せいただくようお願いいたします。

6 閉 会

令和6年度 第1回除雪懇談会資料

昨年度（令和5年度）の除排雪概要について

1. 近年の気象状況について

年度別最深積雪深・累積降雪量



※ 降雪量は降雪が観測された日から3月31日迄の数値

令和5年度 月毎の降雪量 11月：33cm 12月：81cm 1月：184cm 2月：142cm 3月：78cm
1月7日に24時間降雪量69cmを記録する大雪を観測（1999年の統計開始以来最高）

年度別真冬日・平均気温・累積積雪深

項目	真冬日						冬期間の 平均気温	累積 積雪深
	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
平成30年度	2日	11日	18日	12日	0日	43日	0.3℃	5,009cm
令和元年度	2日	13日	14日	11日	0日	40日	0.2℃	3,640cm
令和2年度	0日	14日	21日	12日	2日	49日	0.0℃	5,426cm
令和3年度	0日	9日	13日	15日	0日	37日	0.7℃	9,326cm
令和4年度	0日	11日	22日	15日	0日	48日	0.5℃	7,305cm
令和5年度	3日	12日	10日	13日	4日	42日	0.5℃	7,882cm

< 過去30年間平均 >

平均気温：-0.2℃

真冬日：47日

累積積雪深：8,037cm

真冬日：最高気温が0℃未満の日

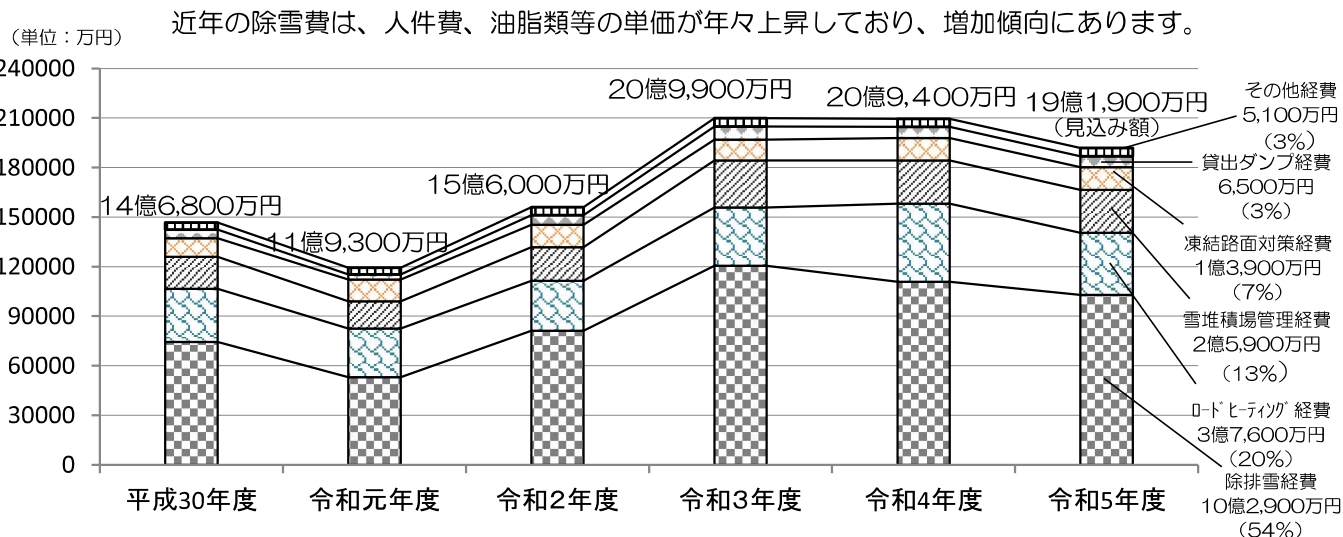
冬期間：11月～3月

累積積雪深：日々の最深積雪深の累計

※1月27～29日にかけて日最低気温が0℃を上回る暖気
2月19日に日最高気温15.7℃を記録（2月における日
最高気温として1943年の統計以来最高）

2. 昨年度の除雪費について

昨年度 除雪費の内訳（決算見込み額：19億1,900万円）



(※1) その他経費：車両関係経費等

3. 昨年度の除排雪作業に係る主な取り組みと除雪作業について

(1) 昨年度の除排雪作業に係る主な取り組みについて

昨年度は、大雪や暖気の影響を受けた中でも下記の取組を実施しました。

①庁内における雪対策体制

- ・早期の降雪に備え、除雪対策本部を11月1日に設置しました。

②主要交差点等における見通し確保

- ・108箇所について排雪を実施し、見通し確保に努めました。

③主要な通学路の歩行空間確保

- ・小学校3学期始業式前までに排雪作業等を実施。
- ・大雪の影響で排雪作業が間に合わなかった一部の路線については、除雪作業により歩行空間確保に努めました。

④観光に配慮した除排雪の継続

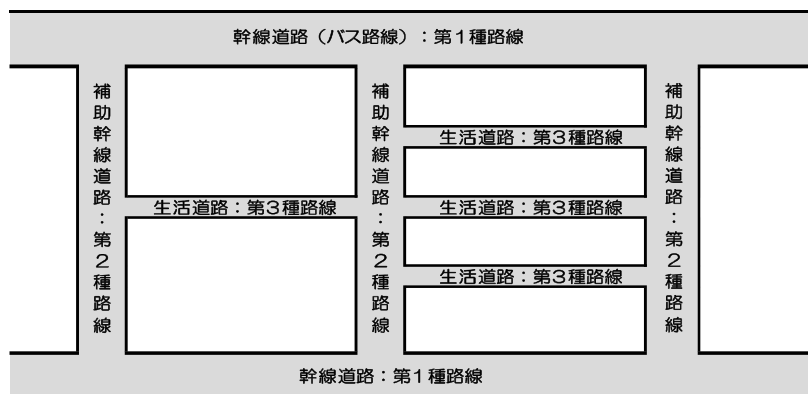
- ・雪あかりの路等のイベントに合わせ、観光に配慮した除排雪作業を実施し、車道幅員を確保するとともに、歩行空間の確保や、段差解消に努めました。

(2) 昨年度の除雪作業

○ 除雪路線の出動基準と道路種別のイメージ

路線区分	道路種別		出動基準（目安）
第1種路線	幹線道路	国道、道道と接続するバス路線など交通量が特に多い主要道路	降雪量10cm以上が見込まれるとき
第2種路線	補助幹線道路	幹線道路と生活道路とを接続する通過交通量の多い道路	降雪量15cm以上が見込まれるとき
第3種路線	生活道路	主に地区居住者の日常生活において利用する道路	交通障害が発生するとき（通常は圧雪状態）

※上記の出動基準（目安）の他、ガタガタ路面など車両走行に支障がある路面状況が発生したとき



4. 昨年度の凍結路面对策について

※数値は令和5年度実績

(1) ロードヒーティング施設

設置箇所数：232箇所 設置面積：約70,300㎡(稼働面積：約54,700㎡)
 設置延長：約14km 部分停止面積：約15,600㎡(内、約130㎡が令和5年度から)

【ロードヒーティングの試行的な部分停止について】

昨年度は15,600㎡の試行的な部分停止を行いました。交通に支障となる路面状況の悪化等は、確認されなかったため、今後においても引き続き、安全性が保たれる範囲内において継続したいと考えています。

(2) 砂散布作業

機械による砂散布延長：約67km
 砂箱設置箇所数（仮設砂箱含む）：650箇所
 砂まきボランティア登録数：168件

昨年度も行政・市民との協働作業により凍結路面对策を実施しました。

5. 昨年度に寄せられた市民の声について

バス路線や主要通学路等を優先した除排雪作業に努めて参りましたが、市民の皆さんから寄せられる「市民の声」は、「除雪依頼」865件、「除雪後の苦情」330件、「排雪依頼」594件、「その他」836件となり、総数は2,625件で令和4年度の2,292件より333件増加しました。

市民の声（平成30年度～令和5年度）（主項目）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
除雪依頼	429 件	185 件	418 件	1,276 件	677 件	865 件
除雪後の苦情	319 件	184 件	322 件	514 件	512 件	330 件
排雪依頼	231 件	148 件	271 件	958 件	461 件	594 件
その他	553 件	546 件	594 件	904 件	642 件	836 件
合計	1,532 件	1,063 件	1,605 件	3,652 件	2,292 件	2,625 件

（1）市民の声の増加要因

増加要因として、以下の事項が考えられます。

○異常気象の影響

令和5年度は1月7日に24時間降雪量が69cmとなり記録的な大雪を観測（1999年の統計開始以来最高）した。また、1月27日から29日にかけて日最低気温が0℃を上回る暖気や、2月19日に日最高気温15.7℃を記録（2月における日最高気温として1943年の統計開始依頼最高）する等、異常気象の影響を受けた。

○除排雪作業の遅れ

除雪については、連続した降雪(大雪等)により、通常は除雪作業が一晩で終了できる路線が追いつかず、翌日に持ち越すような状況が発生したほか、1月上旬からの急激な降雪量の増加により、積雪が多い中での排雪作業となり、作業の進捗に遅れが生じた。

6. 雪対策における検討事項

以下の事項について、検討を進めております。

○小樽市雪対策基本計画の具体の取組み

【市民との協働による雪対策の推進】

- ・小型除雪機の購入等支援制度設計のため町内会へ除雪機械貸出しの試行を継続します。

【雪堆積場等の確保】

- ・中規模の雪堆積場を確保するための制度確立を目指します。

【基本計画の進行管理】

- ・具体の取組みの進行状況を整理し、必要に応じて進行スケジュール等を見直します。

7. 貸出ダンプ制度について

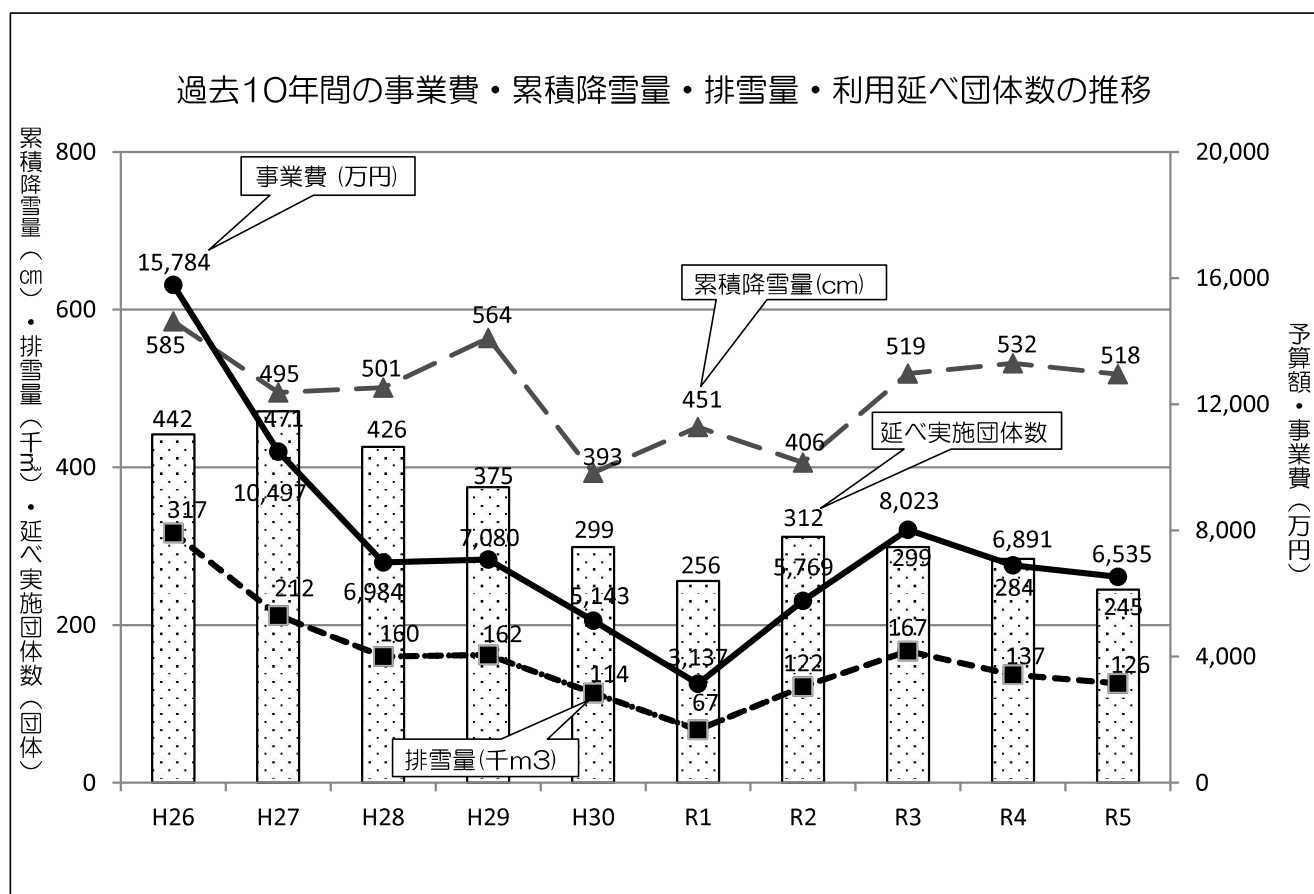
(1) 制度の概要

当該制度は、昭和54年度から市民の皆さんがその居住する地域の冬期間における交通を確保するため、町会又は団体が自主的に生活道路の排雪を行う際に、市が無償でダンプトラックを配車し、運搬処理することにより町会又は団体の排雪費用の軽減を図ることを目的としております。

(2) 貸出ダンプ制度の利用状況

○昨年度（令和5年度）の利用状況

期 間 : 令和6年1月13日（土）～ 令和6年3月13日（水）
 延べ実施団体数 : 245団体
 排 雪 量 : 約12万6千m³

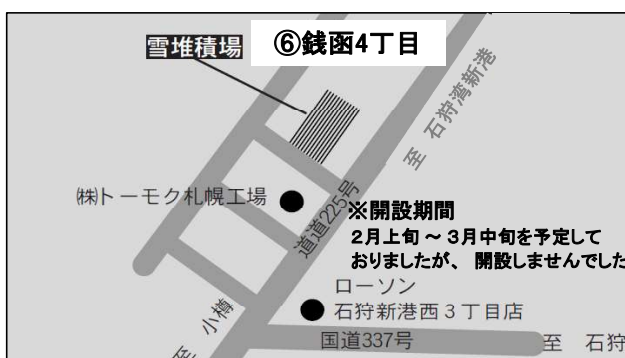
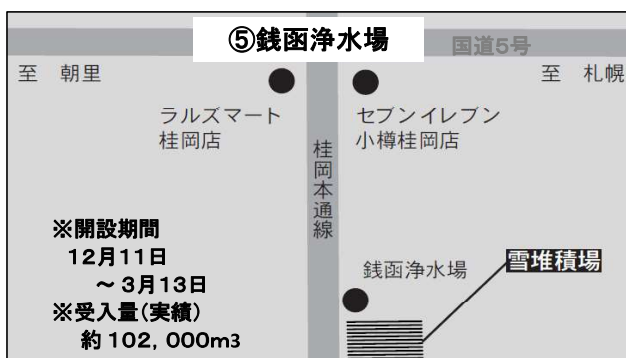
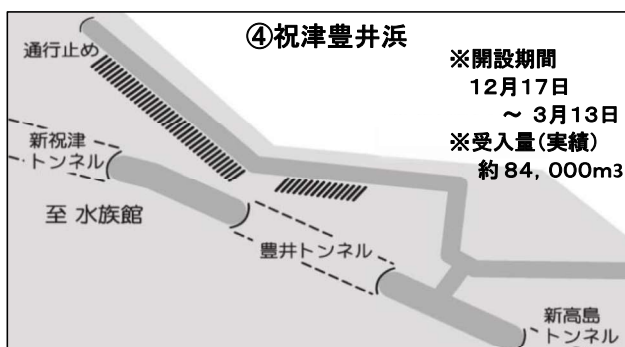
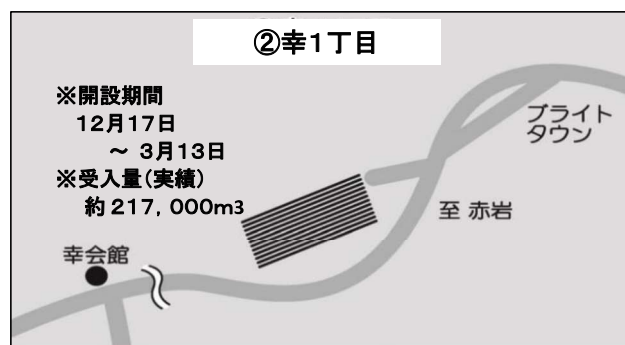
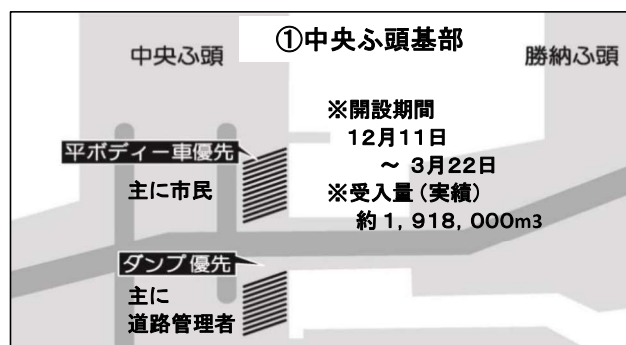


(3) 貸出ダンプ制度の現状と課題

生活道路の排雪支援として、昭和54年度から「貸出ダンプ制度」を運用していますが、制度の適正な利用のため、限りある予算を有効に活用するとともに、今年度においても、現行の貸出ダンプ制度を運用しながら、将来に向けて生活道路の排雪支援の在り方についての検討を引き続き進めます。

8. 雪堆積場の開設（実績）について

下記の6箇所を市民の雪堆積場等として開設いたしました。



9. 市民との協働による雪対策の推進について（参考資料参照）

今後とも本市の除排雪作業を安定的に持続していくためには、市民の皆さんとの協働が欠かせません。特に下記の内容について、御理解・御協力をお願いいたします。

- (1) **玄関前等に残った雪の処理は、各家庭でお願いします。**・・・・・・（参考資料①参照）
幹線道路・補助幹線道路の除雪作業は、小樽市から斜里町までに相当する長距離(約400km)を、限られた除雪機械で交通量の少ない時間帯(深夜から通勤・通学の時間帯まで)に短時間で完了させなければならないため、道路脇に寄せられた「置き雪」は、沿道の各ご家庭で処理するようお願いします。
- (2) **砂まき(砂回収)に御協力をお願いします。**・・・・・・（参考資料②参照）
市で機械による砂散布ができない急坂・狭隘路線や歩道などの滑りやすい箇所に対する砂の散布や融雪後の砂回収作業を行うボランティア活動に御協力をお願いします。(砂の回収作業については道路脇に寄せるか土のう袋(本市で提供可)に入れ、下記に御連絡をいただければ回収に伺います。)
- (3) **雪押場の情報提供をお願いします。**・・・・・・（参考資料③参照）
- (4) **悪天候時は不要不急の外出を控えるようお願いします。**・・・・・・（参考資料⑦参照）

※ 雪対策に関する御意見・御要望の窓口について

小樽市 建設部 建設事業室 維持課

住所 : 花園5丁目10番1号

TEL : (代表) 0134-32-4111 (内線7578・7579)

(直通) 0134-27-0205

FAX : 0134-27-4469

E-mail : kensetu-jigyo@city.otaru.lg.jp

様式については小樽市ホームページをご覧ください。([小樽市雪対策に関する御意見](#) で検索)

道路・除雪通報サービスもご利用いただけます。([小樽市道路・除雪通報サービス](#) で検索)

令和5年度 小樽市除雪だより

◇除雪対策本部の開設について◇

除雪対策本部を11月1日に開設し、
建設事業室（花園5丁目10番1号）に本部事務局を設置しています。

連絡先：除雪対策本部事務局（建設部建設事業室）

Tel代表：32-4111（内線7578、7579） ※市役所閉庁日は当直

直通：27-0205 Fax27-4469 ※市役所閉庁日のみ

◇皆さんに守っていただきたいルールとお願い◇

冬期間の道路の円滑な交通を確保し、安全で快適な市民生活を実現するため、
市民の皆さんに下記の内容にご理解とご協力をお願いいたします。

【宅地内の雪出し禁止】

宅地内の雪などを道路に出すと、道路が狭くなったり、事故の原因になります。



【路上駐車禁止】

除排雪作業の妨げになります。



①玄関前等に残った雪の処理は各家庭で

道路除雪は、限られた時間で作業するため、
玄関前などに雪が残ってしまいます。



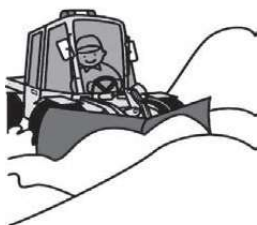
②砂まき（砂回収）にご協力

つるつる路面に滑り止め材の散布や融雪期の
滑り止め材の回収作業を行う「砂まきボラ
ンティア」を募集しています。



③雪押場の情報提供を

道路脇に堆積する雪の量を減
らすことができます。



④屋根から落雪しないよう 管理の徹底を

歩行者を巻き込んだ事故につ
ながる恐れがあります。



⑤子供を危険な場所で 遊ばせないで

道路脇に積まれた雪山で遊ぶ
と、滑り落ちて道路へ飛び出し、
大きな事故になる恐れがあります。



⑥冬は常に慎重な運転を

ロードヒーティング設置箇所
においても、降雪状況などによ
って融雪が追いつかない場合
があります。



⑦悪天候時は不要不急の外出を控えて

悪天候時に外出すると、「車
が埋まった」「視界が悪く動け
ない」などの状況に陥る危険が
あります。



小樽市 建設部 建設事業室 維持課 宛

(住 所：小樽市花園5丁目10番1号) (FAX番号：0134-27-4469)

送信者(氏 名：) (連絡先：)
(住 所：)
(町会名：) ※個人の場合は、記載不要

雪対策に関する御意見・御要望の内容

本紙にて御持参又はFAX等で、御提出いただければ幸いです。
なお、FAXの場合は受信確認のため、電話にて御一報をお願いいたします。
本様式は、小樽市ホームページ 建設部建設事業室維持課の項目から入手することもできます。
また、パソコン等で別途作成のうえ提出いただいても結構です。
電子メールの場合は kensetu-iigyo@city.otaru.lg.jp へお願いします。
なお、特定の箇所に関する御意見・御要望は、地図を添付していただければ幸いです。